

私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同



ICA総会時の集合写真

ICA 1周年

代表取締役社長 葛田 洋一

去る4月23日、「クラフトビールの日」に合わせて、若手クラフトビールアソシエーション（略称ICA）の総会と懇親会を開催いたしました。

昨年、岩手県内の全ブルワリー15社で発足し、1年が経ちました。ビールの勉強会やイベントの開催に加えて、団体発足をきっかけにこの勉強会やイベントの開催に加えて、団体発足をきっかけに...

ICAの調査によると、岩手のクラフトビール市場は、前年比100.5%とほぼ横ばいながら、県内のビール消費量に対するシェアは31%、全国平均0.95%の約3倍と、クラフトビールがよく飲まれている県であることが分かりました。また、県内ブルワリーの岩手県内への出荷量は全出荷量の35%で3分の1以上が地元で消費されていることもわかりました。この数字をさらに増やしていく、地元でのクラフトビールの消費拡大にも取り組んでいきたいと考えています。

流通網が発達した現代において、ビールは飲むの場だけでなく、新しい飲み物です。それは単なる新鮮さだけでなく、

提案いただいた、岩手のクラフトビールコーナーの設置やフェアの企画、雑誌で特集が組まれるなど、露出が増えた1年となりました。

その土地で培われてきた味わい、人との交流、食べ物とのペアリングなど、様々な観点でそう感じさせるのではないかと思います。地域でのビール消費をもっと増やして、それを地域に根差した文化として発展させることによって、この地へ、ビールを飲みに来てくれる人が増えることを期待しています。そこから新たな交流が生まれ、地域活性につなげていければ、そんな未来を描いています。

また、今年度、当社から発売したつなぐビールは、岩手県産原料100%で造られています。将来的にはこれを岩手県内のブルワリーにも拡大していく、原料から作られるこの土地ならではの味わいをつくり、日本初のクラフトビールの（地理的表示）取得を目指したいと考えています。

リレーエッセイ

和山 悟 | 製造部北山工場



菅原潤さんよりバトンを引き継ぎました製造部の和山です。暖かくなりランニングしやすい季節になりましたね。朝方、作業の合間にふと窓の外を見ると通勤がてら走っている方を見かけるようになりまして。「仕事前になんか、ナイスラン！」と尊敬の気持ちで（勝手に）お見送りしています。私もランニングをしますが休日にのんびりと走っています。その中での楽しみの一つが通ったことのない道を探検しながら走ることです。初めての道は「面白い」で溢れています。お店の看板、アパートの名前の繋がりが。私は盛岡出身で学生時代と前職の数年を除いた長い間、盛岡で暮らして

いますがまだまだ知らないところばかりだなあと実感しています。知らない道を走る楽しさという点で旅行先でのランは欠かせません。今年2月に研修旅行で静岡・東京を訪ねた際の宿泊先は東京・両国。ここぞとばかりに隅田川沿いを1時間ほど走りました。雲一つない晴天でもとても気分良く走ることができました。2024年の1月には同じく研修旅行でドイツはミュンヘンを訪ねました。ドイツに行ける機会はなかなかないのでなんとか走る時間を作りミュンヘン市内を走りました。これは忘れることのできない思い出です。もちろんランの後にはビール！最高です。皆さんお勤めの旅行先もぜひ教えてください。



次は2月の研修旅行で同じ班だった菜園マイクロブルワリーの小山さん、よろしくお願ひします！

今月の新製品

総務部 奈々 | 菅原

今月は、ベアレンが初めて造ったビール「コロニア」のご紹介です！本商品は、ドイツ・ケルン発祥のケルンシュスタイル。上面発酵酵母を使用した華やかな香りと、すいすい飲めちゃう軽やかな飲み口が特徴です。ビールの中で唯一、原産地呼称が法律で認められ名称が保護されているため、ベアレンではケルンのかつての呼び名である「コロニア」を商品名にしています。また、現地ではシュタングと呼ばれる細長い200mlの専用グラスで何杯も飲むのが慣習となっており、その光景はさながら岩手名物「わんこそば」のようだとか。これから来る暑い時期にもびったり！ぜひお試しください！

編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

ベアレンの新しい姿、ご覧いただけましたか？今年のテーマは「つながりの力」。たくさんの方が関わり完成した、岩手県産原料100%の「つなぐビール」。このビールで、岩手のちよっと良い未来に繋がりたい、そんな願いを込めています。CMにはスタッフも出演しています！



各アカウント一覧はこちら↓



↑YouTubeで公開中

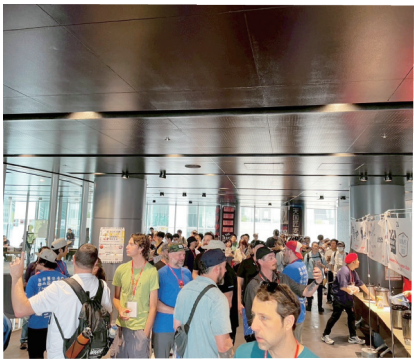
今月の一枚 野生のニホンツキノワグマの保全事業にお役立ていただくため、昨年発売した「姫とリオの乾杯ビール」の売上の一部を盛岡市動物公園ZOOMOさんへ寄付いたしました。ご購入いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

Hood to Fuji

製造部北山工場 | 賢太郎 寫田

2025年2月1日に北山製造部へ入社いたしました、寫田賢太郎です。今回は、私にとって初めての出張となったイベント「Hood to Fuji」について、ご報告いたします。

「Hood to Fuji」は、2025年4月19日・20日の2日間にわたり、東京・渋谷ストリームで開催されました。私は商品企画室の内館とともに参加し、当社としてはオレゴン州ポートランドのブルワリー、deGarde Brewingさんとのコラボレーションビール『Cornichon Rice Lager (コーンにはライスラガー)』を



会場内の様子

出品いたしました。このビールは、日米コラボをイメージして、当社の銅釜でつくるラガービールに、アメリカの主食である「コーン」と、日本の主食である「お米」を使用し、ホップもアメリカ生まれの「カスケード」と日本生まれの「ソラチエース」を使用しています。軽やかでドリンクパルな仕上がりですが、ドライホッピングによって華やかなホップの香りも楽しめる一杯になっております。イベントに来られなかった方も、4月19日から各直営店舗にてお楽しみいただけます。ぜひお試しください。

イベント当日は、日米あわせて50社・25種類のビールが並び、それぞれ個性豊かで、味や香り、色合いまでまったく異なるものでした。多くのブルワリーたちが集まり、お互いのビールを飲みながら感想を言い合い、意見を交わし、ときには仲間同士で盛り上がるなど、終始にぎやかで活気にあふれた雰囲気でした。ちなみに、アメリカ人ブルワリー

の多くはキリンさんの「氷結」を飲んでいたので印象的でした。

2日目には、プチよ市に参加していた栗石工場の佐藤も合流し、より深いビール談義を楽しむことができました。初めての出張ということで当初は緊張もありましたが、おかげさまで、多くのブルワリーの方々とお話する機会を得ることができ、大変貴重な経験となりました。



この2日間を通じて、ビールづくりの奥深さや業界の熱量を肌で感じることで、き、自分自身の視野も大きく広がったように思います。今回得た経験を、今後の業務にも活かしてまいります。

レストラン便り

團尾 優季 | ビアベースベアレン盛岡駅前



ビアベースベアレンは、今年の3月でオープン5周年を迎えました。いつもご利用いただき誠にありがとうございます。5周年フェアでは、マスコットキャラクター「5」の2個を振っていたいただき『5』のぞる目が出たらマスコットキャラクターの企画を行いました。この機会に初めて頼んでくださる方も多く、「ぞる目が出ないー！」と皆さまで盛り上がりつつある姿を見て、私たちスタッフもとても楽しかったです。思った以上にマスコットキャラクターの注文がありました。ぞる目が出たのは1名のみでした。また、料理の目玉は「黒毛和牛サーロイン1ポンドステーキ」！お皿から溢れるサイズの肉は見た目にもインパクト大で、ステーキ目当てで来店された方もいるほど。



オープンして5年目ですが、盛岡在住の方でも「初めてベアレンに来た」と声を掛けられることがまだまだございます。地元の方、観光で越しの方、出張でお越しの方、老若男女問わず様々な方にベアレンビールを満喫していただきたい！(あ、お酒は20歳になってからです！)今一度、初心を思い出し、スタッフ一同精進する1年をしたいと思っております。まずはお気軽に地下への階段を降りてみてください！カウンター席に1名でお越しの方も結構いらつしやいますよ！お待ちいたしております！

大迫力の1ポンドステーキ！

わたしとベアレン

投稿者 | 桜田眞理子さま

「ビール会社のラウンジクラブ？誰でも参加自由。なんだか楽しそう」20周年のランからの縁です。「ゆっくり走りますから大丈夫」と先導するのは社長。と言いつつ、スタートダッシュが速い。走る前の全員での集合写真はとってもフレンドリー。他にも地元岩手を盛り上げようと様々な企画あり。春から始まる「よ市」での立ち飲み。オンペアでのユニークトークとビールの新しい発見。ベアレンビール最高。スタッフの皆さんも素晴らしい(毎月送られてくるベアレンニュースで思いが伝わります)。これからも走って、飲んで、笑って。宮城から応援しています。

※ベアレンにまつわる思い出を教えてください。どんな小さなエピソードでも大歓迎！ご応募、お待ちしております。



↑応募はこちら

笑熊会活動報告

菅原 旦輝 | 製造部北山工場

新年度となり、笑熊会も新たなメンバーを加え、新体制でスタートいたしました。今年度も昨年に負けないくらい楽しく、面白いイベントができるよう頑張っております！

さて、今年度最初のイベントは毎年恒例となっております盛岡城跡公園でのお花見です！お花見前日にぼつぼつと雨が降っていたことに加えて、夕方ごろ

満開の桜の下で乾杯！



から曇り予報。会場がぬかるんでいないか心配していましたが、昼間が晴れてくれたおかげで、地面が程よく乾燥し、コンディションの良い状態でお花見を開催することができました。また、今年は昨年に比べると気温が低く、少し肌寒さを感じましたが、4月でも雪が降ることがある盛岡らしい春らしさも感じつつ、頂いた甘酒で温まりながら非常に和やかな雰囲気です。桜を楽しむことができました。さらに、隣では大道芸人の方のパフォーマンスショーが行われており、とても楽しい夜を過ごすことができました。今年は、前年度よりも、新しいスタッフを含め多くのお客さまにご参加いただき、大所帯でのお花見になったなあと感慨深い気持ちになりました。

今年度もこういった楽しいイベント盛りだくさんでお送りしていきたいと思っておりますので、次回の笑熊会の活動をご期待ください！